

令和8年度 枚方市立楠葉中学校 学校教育方針

校訓： 誠・和・剛

学校教育目標： 自他を敬愛し、自らの力で未来を切り開くことのできる生徒の育成

求める生徒像

- ① 自分を大切にする
- ② 周りの人を大切にする
- ③ 感謝の気持ちを持つ

双方向に作用

求める教師像

- ① 豊かな人間性・人権意識の向上
- ② 主体性と同僚性をもった職場環境の構築
- ③ 情報共有と発達支持的視点による生徒支援
- ④ 教育の目的・意義を明確にした授業づくり
- ⑤ 学習指導要領に基づく系統的な研究・実践
- ⑥ 教育活動の客観的かつ協調的な合意形成づくり

具 体 化

学力向上・キャリア育成

- ① 探求学習を取り入れた自立した学びの確立
- ② 逆向き設計での根拠を明確にした学びの研究
- ③ ICT 機器を活用した効率的な授業展開
- ④ 情報モラルを基盤とした情報活用能力の育成
- ⑤ 多面的な他者理解に基づく人権意識の醸成
- ⑥ キャリア教育による先を見据えた目標意識の醸成

体力向上・健康管理

- ① 体育・行事・部活動などでの運動機械の確保
- ② 事故防止のための安全管理の徹底
- ③ 安全配慮のためのルール遵守の徹底
- ④ 食に関する指導の全体計画に基づく食育の推進
- ⑤ がん教育などの健康教育の推進
- ⑥ 食物アレルギー事故防止に向けた意識向上

生徒指導・生徒支援

- ① 生徒の自己肯定感向上につながる発達支持的生徒指導の徹底
- ② 個々の特性に合わせた合理的配慮の実施によるインクルーシブ教育の実践
- ③ いじめの重大事態化防止に向けた生徒の見守り・事案発生時の組織的な早期対応の徹底・SC、SSW、その他外部機関と連携した生徒支援の実施
- ④ こどもの権利条約を基盤としたルールメイキングによる生徒の自治意識向上
- ⑤ 日々の生徒の悩みに寄り添う相談体制の充実

小中一貫教育

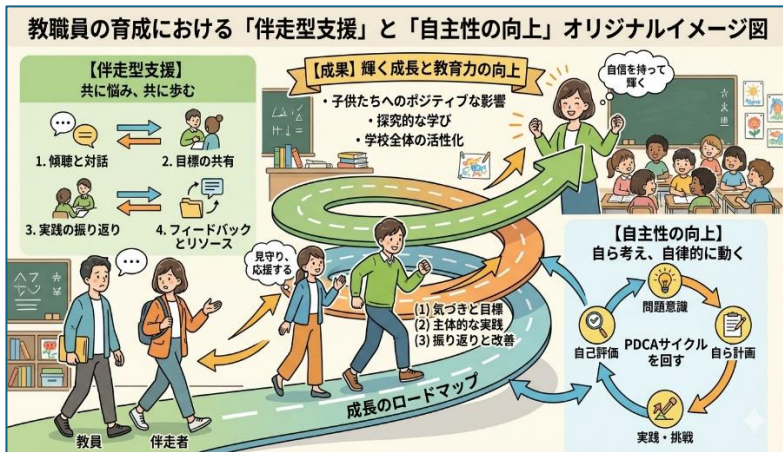
- ① 9年間のつながりをもった子どもの育成実現につながる小中連携による生徒支援の充実
- ② 校区相互参観、交流研修による学びの系統性の確立

地域・保護者連携

- ① 地域・保護者と連携した行事実施による地域参画意識の向上
- ② 地域・保護者と連携した校区内での生徒の見守り体制の充実

人材育成・働き方改革

- ① 首席、主任などによる業務立案における主体性を尊重した責任感、向上心の向上
- ② 教職員の服務規律遵守による全体の奉仕者としての意識向上
- ③ ICT 機器を活用した業務の効率化による業務の絶対量の削減
- ④ 出退勤システムを活用した長時間労働者の心身のケア、サポートの充実
- ⑤ 部活動などでの外部人材の活用による業務負担の軽減
- ⑥ 研修参加促進および伴奏型支援による教職員の指導力向上



伴走型支援の心得

- ①「自ら考え自律的に動く」ことからはじめてください
- ②メンタリングによる伴走での支えあいが大切です。
対話と信頼・長期的かつ多角的視点・自発性の尊重
- ③フィードバックは根拠を明示し、簡潔に
- ④次への活力を伸ばせるようなプラスの声掛けを忘れずに!

生徒の探求学習の効果的な活用イメージ

- ①課題を提示したり、発見させたりしましょう ルーブリックをはじめに共有
※Open-ended questions の意識をもちましょう
- ②計画を立てさせてみましょう 学びの質を決定する最も重要なフェーズ
※実現可能性のチェックしましょう
アウトプット対象をイメージした planning を
- ③探求・調査は自主性を尊重と、支援の視点での声掛け **ゴールを明確にすることが必須**
※原則、自主性優先ですが、困っている生徒にはイメージの具体化を支えるような適切な支援をしましょう「どうすればよくなりますか?」「こまっていることはないですか?」
- ④まとめる・表現する **単なる「まとめ」ではなく「自己表現」することが大事**
※調べたことの羅列になっていないかチェックしましょう
根拠が明示されていますか?→「なぜそう思ったんだろう?」
自分の意見はありますか?→「自分ならどうする?」
探求前後の変化は?→「探求してみて何が変わった?」
- ⑤フィードバックと評価 **正誤ではなく、どう考え、どう動いたかを重視**
※聞き手としての感想を **I Message** で伝えましょう。
他の可能性について検討させましょう。
ほめる際には、事実について、具体的にほめましょう

